# 第２章　全体構想：将来都市像・まちづくりの目標

第２章では、現況と課題を踏まえ、目指すべき将来の都市の姿と、その実現に向けたまちづくりの目標を示します。

# 1 将来都市像

まちづくりの理念は、第２次熊谷市総合振興計画の基本構想に示される「将来都市像」に即して定め、上位計画と一体となって取り組み、実現を目指します。

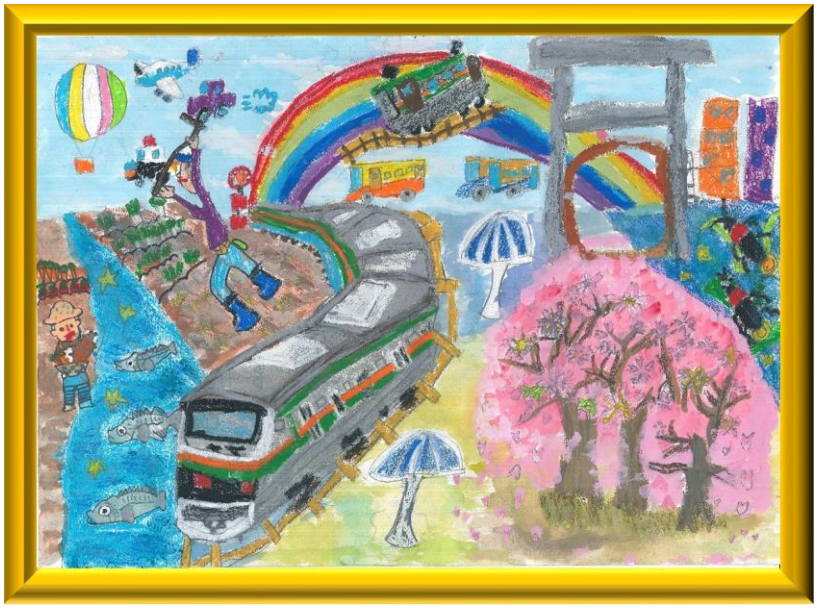
**《将来都市像》**

**未来に向かって人や地域がまとまり・つながるまち　くまがや**

現在の熊谷市は、二度の合併を経て誕生しました。各地域の先人の知恵や努力がワンチームとなって、県北の中核都市として発展を遂げてきた熊谷市。そのレガシー（遺産）は、いつの時代も変わらない価値を持ち、豊かな自然環境や歴史・文化として、今を生きる私たちに引き継がれています。

一方、私たちを取り巻く社会環境は、人口減少・少子高齢化などによる都市の低密度化や激甚化する自然災害等、劇的な変化が生じています。これからの「まちづくり」は、そのような目まぐるしい時代の変化に柔軟に対応していく必要があります。

そこで、これまで私たちが受けた恩恵を次世代に届けるとともに、安全で暮らしやすい、住み続けたいまちを創っていくため、本市の将来都市像を＜　**未来に向かって人や地域がまとまり・つながるまち　くまがや**　＞と定め、持続的な都市経営、人にも企業にも選ばれるいきいきとしたまちを目指します。



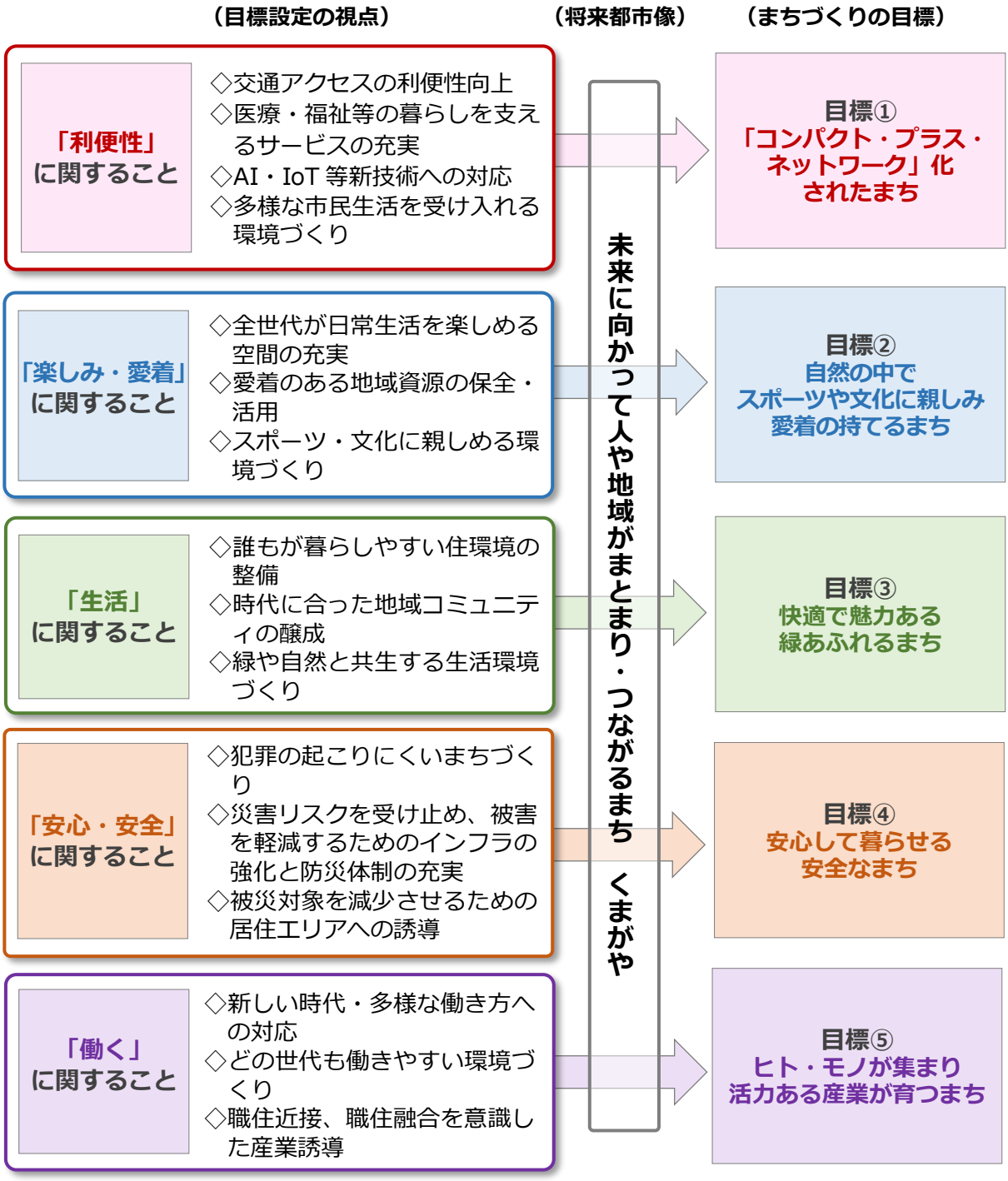
**市田小学校４年「空とぶ高崎線」**

# 2 まちづくりの目標

まちづくりの目標は、前章までに整理したまちづくり上の現況と課題、市民意向、上位計画を踏まえ、５つの目標を設定します。

下記の５つの視点から、それぞれに対応する目標を設定し、その実現を目指します。

**《目標設定の視点と５つの目標》**



## 目標① 「コンパクト・プラス・ネットワーク」化されたまち

**「利便性」に関すること**

◇県北の中心地として、人々が必要とする都市機能を集積し、利便性の高い拠点を目指します。

◇各地域の特色を生かした市民生活を守っていくため、人口減少･少子高齢化の中でも地域の医療・商業・福祉等の都市機能を維持・充実させます。

◇子育て関連機能等を充実させ、都市の魅力を高めることで少子化の抑制を図ります。

◇市内の拠点への移動のしやすさや市外への良好なアクセスを組み合わせた利便性の高い交通ネットワークを形成します。

◇時代の変化に柔軟に適応し、ニーズに対応した都市機能を配置できる都市を形成します。

## 目標② 自然の中でスポーツや文化に親しみ愛着の持てるまち

**「楽しみ・愛着」に関すること**

◇地域資源を生かし生活を楽しむ空間として、スポーツ・文化・健康拠点を形成します。

◇歴史・文化などの魅力を感じ、人々が交流する空間として、観光交流拠点を形成します。

◇水辺や緑に親しみ安らげる空間の維持・充実を図ります。

◇循環型社会の形成や地球温暖化対策によって環境負荷を低減し、自然環境を保全します。

◇魅力的な店舗や歴史ある街並み・文化など、地域の特徴を生かしながら、新しい楽しみ方を感じられる空間を創出します。

## 目標③ 快適で魅力ある緑あふれるまち

**「生活」に関すること**

◇ゆとりある環境の中で自然に触れ、かつ、高い交通利便性等を享受でき、豊かに暮らせるまちづくりを推進します。

◇自然環境と共生し、多様なライフスタイルに対応可能な住環境を形成します。

◇スマートシティの形成やグリーンインフラの活用により、暑さと共存できる快適で持続可能な住環境を形成します。

◇暮らしを支える都市施設は、今後の社会情勢の変化や人口減少・少子高齢化等への対応を図ります。

◇子どもから高齢者まで安心して暮らし続けられる住環境を形成するため、多くの人が参加できる地域コミュニティづくりを行います。

## 目標④ 安心して暮らせる安全なまち

**「安心・安全」に関すること**

◇地域コミュニティと連携した犯罪の起こりにくいまちづくりを推進します。

◇ハード対策とともに、災害情報の周知・共有の強化や、避難体制整備等のソフト対策を推進します。

◇災害リスクの低いエリアに居住を誘導する「防災の観点からのコンパクトな都市構造」の実現を目指します。

◇グリーンインフラを生かした防災・減災対策を推進します。

## 目標⑤ ヒト・モノが集まり活力ある産業が育つまち

**「働く」に関すること**

◇都市の活力を生み出すため、工業・商業・農業を活性化します。

◇広域交通ネットワークや新技術を生かした働く場の形成を目指します。

◇広域交通ネットワークを生かした工業・物流系等の企業誘致を推進します。

◇職住近接・職住融合が実現できる住環境や労働環境の形成を推進します。




佐谷田小学校４年「にじ色タウン」




妻沼小学校１年「ニャオザネとゆめのこうそくれっしゃ」